

海外安全対策情報（2025 年 7 月～ 9 月）

1 社会・治安情勢

(1) 最近のパキスタン情勢

2025 年 4 月、インドのジャンムー・カシミール州で観光客を狙った銃撃テロが発生し、インド政府はパキスタン支援の武装勢力による犯行と非難した。5 月に入り、インドは、アーザード・ジャンムー・カシミール（AJK）を含むパキスタン国内のテロリストが潜伏していたとされる拠点を空爆し、「オペレーション・シンドウール」を実施。両国はその後、軍事衝突に至るも 5 月 10 日に停戦が実現。

(2) テロ等の傾向

ア 2024 年中、パキスタンでは 521 件（2023 年 306 件）のテロが発生し 4 年連続の増加となった。パキスタンのテロ発生件数は、軍及び治安機関等によるテロリスト掃討作戦により 2009 年以降減少傾向にあったものの、2021 年以降増加傾向にある。2021 年に隣国アフガニスタンの首都カブールが陥落して以降、地域情勢は不安定化しパキスタンにも大きな影響が及んでいる。

イ 7 月のテロ発生件数は 58 件であった。テロにより 68 人が死亡し 93 人が負傷した。

8 月のテロ発生件数は 98 件であった。テロにより 87 人が死亡し 155 人が負傷した。

9 月のテロ発生件数は 55 件であった。テロにより 122 人が死亡し、130 人が負傷した。

テロ発生件数（2025 年 4 月～ 6 月期）から 62 件増加（149 件→211 件）し、死者は 88 人増加（189 人→277 人）、負傷者は 95 人増加（283 人→378 人）した。

ウ 今期においては、即席爆破装置（IED）攻撃や銃撃が主要なテロの手段であり、その標的の多くは軍・治安当局とその関連施設であるが、テロ組織の中には中国・パキスタン経済回廊（CPEC）や中国関連施設を標的と公言している勢力もある。

エ 都市部や地方の別に関わらず、治安当局によるテロリストの拘束及び武器・弾薬等の押収が多く確認された。治安当局による精力的な取締りが行われているが、依然としてイスラマバード首都圏を含めた都市部においてもテロの脅威は存在しているものの、これらに対応すべくイスラマバード警察は治安維持に取り組んでいる。

(3) 各種デモ

当地では、主に金曜礼拝後、各種団体による様々なデモが行われる傾向にあり、デモ参加者の行動がエスカレートし一部が暴徒化することもある。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 銃器使用犯罪

今期においても、前期と同様に銃器を使用した犯罪及び押収事案が相次ぎ、特に主要道路から離れた路地等人通りが少ない場所においては、その危険性が高い。主要都市部においても、銃器を使用した強盗事件（ガンポイント）や侵入強盗事件が頻発している。

治安当局は継続的な銃器の取締りに取り組んではいるものの、違法に所持し摘発されるケースが後を絶たず、違法銃器のまん延が問題となっている。

(2) その他

今期においても連日、違法な銃器・爆発物・薬物の押収事案が報じられた。

なお、以下についても引き続き注意が必要である。

ア 招き入れ型侵入犯罪

イスラマバード首都圏は富裕層が多く居住しており、各家屋には警備員やドライバー等の使用人を雇っている家主が多いが、これら使用人が犯罪者側と共謀し家屋内に招き入れて犯罪に加担する事件が時折発生している。また、家主の不在の間に家屋に侵入し、金品を窃取する事件が発生しているため、在宅の有無にかかわらず施錠を行うほか、使用人、警備員等への指導を徹底する必要がある。

イ 名誉殺人

当地では地方を中心に、親が認めない相手との交際などで、家族の名誉を汚したとして女性又はその交際相手が殺害される、所謂名誉殺人が後を絶たない。今なお保守的なパキスタン社会では、毎年多くの女性が名誉殺人の犠牲になっており、凄惨な殺害事件も発生している。また、当地では親同士が本人の意思と関係なく決めた相手と結婚させるのが都市部でさえ一般的であり、それに起因するトラブルで結婚相手やその家族・親族等からのDV被害も深刻な問題となっている。

ウ 性犯罪及び虐待

当地では、婦女暴行を含む性犯罪及び虐待事件が頻繁に報道され、その発生件数は非常に多く、性犯罪は増加傾向にあると報じられている。同種事件の被害者は、二次被害のおそれ等から警察に届け出ないことが多く、被害実態は正確に把握できない。被害者の年齢及び性別は多様で特に子どもをターゲットにした極めて悪質な犯行も多く発生しており、誰もが被害者になる可能性がある。また、最近の報道によると、イスラマバード市内居住の外国人駐在員女性が自宅の警備に従事している警備員に寝室に押し入られ、性的暴行を受けた事件が発生している。当地では、「自分の身は自分で守る」という意識を常に持ち、決して油断することなく、細心の注意を払うことが重要である。

エ サイバー犯罪

パキスタン連邦捜査局（FIA）サイバー犯罪部門は、SNS を通じた詐欺投資話、違法な資金取引、児童ポルノのアップロード等、サイバー領域における監視を強化している。FIA では、違法な手段で入手した資金がマフィアの活動資金となっているとして、摘発を強化している。

オ プロの物乞い

イスラマバード首都圏では、マフィアの支配下にある物乞いが問題となっており、イスラマバード警察では摘発に力を入れている。道路上での物乞いを装って、拳銃強盗を働くケースも報告されている。物乞いに窓を開けて対応する等、不注意な行動は犯罪者に隙を与えるため、慎重必要がある。

カ 宗教上の禁忌に対する反応

2021年12月3日、パンジャブ州シアルコートの工場において、スリランカ人マネージャーをパキスタン人従業員が撲殺し、その遺体を路上で放火する事件が発生した。事件の発端は、宗教的禁忌（預言者ムハンマドに対する冒瀆）に起因しており、激高した多くの従業員が暴徒化した。宗教上の禁忌に十分な注意を払い行動する必要がある。

3 誘拐・脅迫事件発生情報

今期、日本人が対象となる誘拐事件は発生しなかった。

当地では、パキスタン人が誘拐される又は誘拐後に殺害されて発見される事件が頻繁に発生している。誘拐・脅迫事件の背景としては、テロ組織による、誘拐事件を利用した政府等への身代金等の要求又は資金稼ぎを目的として犯行に及ぶケースの他、犯罪者が、強姦等の性犯罪や身代金目的で行うケースがある。このような誘拐事件は、解決までに多大な労力・時間を要すると共に、誘拐された被害者が殺害される可能性もあることから、事件に遭わないための安全対策が重要である。

また、女性や子供が性犯罪目的で誘拐される事件が多く報道された。

4 日本企業の安全に関わる諸問題

今期においては発生していないものの近年に以下の邦人被害を含む事案が発生している。

(1) 邦人被害について

2024年4月19日、カラチ市内コーランギー地区において、邦人複数人が乗車する車列が襲撃される事件が発生し、邦人1人が負傷したほか、攻撃に参加したテロリスト2人及び警備員1人が死亡、警備員1人及び通行人1人の計2人が負傷した。

(2) 外国人被害について

ア 2020年12月15日、カラチ市南地区において中国人の車両にリモート爆弾が設置されたが不発だった。この中国人はレストランを所有している。同人がクリフトン地区のショッピングモールから帰宅していたところ、オ

ートバイに乗車した2人の男が中国人車両に接触した後に逃走した。その際に爆発物が磁石で取り付けられた。

イ 2021年4月、クエッタにおいて駐パキスタン中国大使が滞在していたホテルに対するテロが発生した。さらに、同年7月14日には、KP州のダス水力発電プロジェクトに従事するスタッフらが乗る中国企業のシャトルバスが建設現場に向かう途上で攻撃に遭い、中国人及びパキスタン人十数人が死亡し、数人が負傷した。

ウ 2021年8月20日、バロチスタン州グワダル市において CPEC 関連事業に従事する中国人技術者を狙った自爆テロが発生し、中国人及びパキスタン人9人が死亡、複数の負傷者が出た。

エ 2022年4月26日午後、シンド州カラチ市のカラチ大学に隣接する孔子学院前で自爆テロが発生し、中国人教員3人を含む4人が死亡、2人が負傷した。

オ 2022年9月28日午後、カラチ市サダル地区にある歯科医院内で殺害事件が発生し、中国人1人が射殺され、2人が負傷した。

カ 2024年3月26日、KP州においてダス水力発電プロジェクトに従事するスタッフらを乗せた車両が建設現場に向かう途上で攻撃に遭い、中国人5人とパキスタン人1人が死亡した。

キ 2024年9月22日、KP州スワート郡で、12か国の外交官を含む代表団が、イスラマバードに戻る途中で IED による攻撃を受けた。外交官らは無事イスラマバードに戻ったが、車列を警護していた警察車両に乗車の警察官1人が死亡し、ほか5人が負傷した。

ク 2024年10月6日、カラチ市ジンナー国際空港近傍において、中国人技術者らを狙った自爆テロが発生し、中国人2人及びパキスタン人1人が死亡、複数の負傷者が出た。

(3) 総論

当地においては、活動地域の最新の治安・安全情報の入手を欠かさず、安全を第一に考えた行動方針を定め、まずは事件に遭遇しないための対策を講じるとともに、万が一の事態を想定した具体的な警備・連絡体制を確立することが重要である。

また、当国政府の政策として、外国人の入域を制限している地域が国内各地に存在し、そのような地域に政府からの事前の許可を得ず（又は事前通報をせず）入域した場合には、現地治安当局による安全対策がなされないばかりか、速やかな退去を命ぜられ、また犯罪に巻き込まれた際に通常の警察活動が期待できない場合があるので、当国政府の規定に従い、事前に然るべき手続を行うことが必要である。

5 2024年4月から2025年6月までのテロ発生状況

2024年

4月	34件、死者	47人、負傷者	32人
5月	36件、死者	35人、負傷者	57人
6月	27件、死者	32人、負傷者	36人
7月	38件、死者	61人、負傷者	44人
8月	59件、死者	84人、負傷者	166人
9月	45件、死者	54人、負傷者	117人
10月	48件、死者	100人、負傷者	80人
11月	61件、死者	169人、負傷者	225人
12月	44件、死者	63人、負傷者	74人

2025年

1月	56件、死者	70人、負傷者	109人
2月	54件、死者	121人、負傷者	103人
3月	94件、死者	207人、負傷者	229人
4月	40件、死者	47人、負傷者	77人
5月	46件、死者	70人、負傷者	111人
6月	63件、死者	72人、負傷者	95人
7月	58件、死者	68人、負傷者	93人
8月	98件、死者	87人、負傷者	155人
9月	55件、死者	122人、負傷者	130人

(出典：パキスタン平和研究所「PIPS」)

6 安全を考える上で参考となる事件等（報道ベース）

7月

- 6月29日夜、KP州南ワジリスタン郡北部ラダTehsilコート・ランガルケル村の住宅に迫撃砲弾が直撃し、女性1人が死亡した。本事案は、検問所の襲撃を受け、ミリタント達と治安部隊の間で深夜に銃撃戦が繰り広げられた際に発生したと見られる。
- 1日、KP州デラ・イスマイル・カーン郡ダラジンダTehsilで、FCの車列がテロリスト達によって仕掛けられたIEDの標的となり、治安要員3人が殉職した。
同日、同州ラッキー・マルワット郡ペシャワール-カラチ高速道路沿いのグルバズ・デフカン地区付近で、警察官2人が武装したオートバイ乗り達からの襲撃を受け殉職した。
- 1日、バロチスタン州マストゥング郡マストゥングTehsilで、身元不明の者達が政府機関、銀行及び治安部隊の車両を標的に組織的な攻撃を行い、10台の少年1人が死亡、8人が負傷した。
- 1日、バロチスタン州パンジュグール郡パンジュグールTehsil郊外のホテル付近で、前30日に誘拐された同郡クダバダン地区出身の大学生の遺体が発

見された。

- 2日午後、KP州バジョール郡カルTehsilサディカバード地区で、道路脇に駐車中のオートバイに仕掛けられたIEDが公用車両を直撃し、ナワガイTehsil長及び警察官1人を含む5人が死亡、警察官4人を含む17人が負傷した。TTP及びISKPが犯行声明を発出した。

- 3日、KP州デラ・イスマイル・カーン郡クラチTehsilコート・カンディヤン村で、テロリスト容疑者3人がIEDを組み立てていた最中に誤爆し、死亡した。

- 2日、KP州南ワジリスταν郡南部アズラブ・コワルタート付近で警察車両2台が武装集団による攻撃を受け、警察官が負傷した。

同日夜、同州バンヌー郡ハベイド・アダ地区で身元不明の者達により銃撃され、警備員1人が死亡、同僚1人が負傷した。

3日、同郡ミルヤーンTehsilで警察署がテロリスト達によるドローン攻撃を受け、民間人2人が負傷した。

同日深夜、南ワジリスταν郡北部ラダTehsilシーガ村で、地元の検問所が攻撃されたことを受けテロリスト達と治安部隊の間で銃撃戦が発生し、迫撃砲弾が住宅に着弾し、女性1人が負傷した。

- バロチスταν州ケチ郡マリカバード地区タンブで、身元不明のオートバイ乗り達によって男性1人が銃殺された。

同州ノシュキ郡カディラバード地区で、男性1人の銃弾を受けた遺体が発見された。

- 3日深夜、同郡カロバ地区の放棄された警察署を正体不明のテロリストが爆破し、建物に損傷を与えたが死傷者は報告されなかった。

- 5日、KP州バンヌー郡バックケル・タウンでジルガが武装集団からの襲撃を受け、長老1人が死亡、警察官1人及び地元平和委員会メンバー3人が負傷した。

- 7日、バロチスταν州ナシラバード郡デラ・ムラド・ジャマリ付近のシビー-サッカル高速道路でIEDが爆発し、幹部を含む高速道路警察官3人が負傷した。

- 6日、KP州ラッキー・マルワット郡、タンク郡及び南ワジリスταν郡で5人の遺体が回収された。犠牲者は全員テロリスト達に拉致され殺害されたと見られる。

1件目の事件では、ラッキー・マルワット郡ペズ地区で、治安要員3人がTTP傘下のシャーゼイブ・ビタニ・グループ (Shahzaib Bhattani group) に所属するテロリスト達に拉致された後、殺害された。

2件目の事件では、タンク郡のペズ-タンク・ロード沿いのワンダ・ジョギ付近で、前日に身元不明の武装集団に拉致された若い男性の首を切断された遺体が発見された。

3件目の事件では、南ワジリスταν郡南部シン・ワルサックで男性1人が拉致された後、殺害された。

また、同州バンヌー郡マンディ・バカケル付近で身元不明の武装集団が石油・ガス会社のトレーラー3台を奪い、運転手7人を拉致した。

- 8日、バロチスタン州クズダール郡ゼヘリTehsilで、男性2人が身元不明の者達に射殺されたほか、同州ハブ郡で男性1人と10代の少女1人が射殺された。また、同州カラート郡アジザバードで警察官1人が武装集団に射殺された。
- 9日、バロチスタン州ケチ郡トゥルバットのアブサール地区で、身元不明のオートバイ乗り達が住宅に手榴弾を投げ込み、女性と子どもを含む5人が負傷した。
- 9日、KP州バンヌー郡スラ・バングラ地区で、クアッドコプター攻撃により女性1人が死亡、子ども2人を含む3人が負傷した。警察当局はテロリストがクアッドコプターを使って爆弾を投下したと主張した。
- 10日夜、バロチスタン州ジョーブ郡とロラライ郡の境界にあるスル・ダカイ地区で、パンジャープ州に向かうバス2台に乗っていた9人が身元不明の武装集団に拉致された後、殺害された。犯人達は乗客全員の身分証を確認し、特にパンジャープ州出身者を標的としたとされる。BLFが犯行声明を发出した。
- 10日、KP州バジョール郡カルで、モーターナー・カーン・ゼーブANP指導者及び彼の護衛が身元不明の者達に殺害され、同行者3人が負傷した。警察によれば、本事案は標的殺人であり、同ANP指導者は13日に予定されていた複数政党による平和行進を呼びかけていたところ襲撃された。
- 10日、KP州バンヌー郡で、身元不明のテロリスト達がバックケル警察署管内の建設中の私立小学校の校舎内に爆発物を仕掛け、学校の設備に重大な損害を与えた。
- 12日、KP州バンヌー郡ミルヤン警察署がテロリスト達にクアッドコプターで襲撃された（警察官達は無事であった）。この1か月間で5件目の襲撃であり、軍はこれらの攻撃をTTPによる犯行だと非難している。
- KP州バジョール郡カルTehsilソルバット・ナライ地区で、テロリスト達はIEDを爆発させ、地元民1人が負傷した。
- 13日、ザルダリ大統領は、幅広い安全保障上のニーズに対応するために、国境警備隊であるFCをFCに改組する権限を連邦政府に与える「FC再編令（Frontier Constabulary (Re-organization) Ordinance, 2025）」を公布した。これにより同部隊を全国に派遣することが可能となる。
- 13日深夜、バロチスタン州カラン郡で、身元不明のオートバイ乗り達がラクシャン警察副総監（DIG）事務所に爆発物を投げつけ、現場で作業していた作業員2人が負傷した。
- 13日、KP州ラッキー・マルワット郡バクマル・アフマドザイ地区で、地元部族の政治団体の車列が爆発の標的となり、男性1人が死亡、数人が負傷した。
- 14日、KP州北ワジリスタン郡ミランシャーTehsilのピル・カレイ村付近

で、身元不明のオートバイに乗った武装集団からの銃撃を受け、ダーワル族の部族長及び運転手が殺害された。同部族長は過去にも2度の暗殺未遂を生き延びていた。

- 14日深夜、KP州南ワジリスタン郡南部ビルマールTehsilアザム・ワルサック地区で、身元不明のミリタント達がFCの検問所及び近隣の警察署を重火器で奇襲したことを受けてFC・警察とミリタント達との間で銃撃戦が発生した際に迫撃砲弾が近くの住宅に命中し、民間人3人が負傷した。
- 16日、バロチスタン州カラート郡郊外でバスが襲撃を受け、クエッタへ向かっていたカラチ在住の音楽家2人を含む3人が死亡、13人が負傷した。当局によれば、武装集団がネマルグ地区のクエッタ-カラチ高速道路の両側で待ち伏せし、自動小銃を使って襲撃した。
- 15日深夜、KPラッキー・マルワット郡トールワー地区で、ガスパイプラインに仕掛けられたIEDが爆発し、パンジャブ州にガスを供給するパイプラインに大きな損害が発生した。同郡では1か月で4度目となるガスインフラへの攻撃だった。

16日、同州デラ・イスマイル・カーン郡クラチTehsilシャヒ・ゲート付近で身元不明の者達からの銃撃を受け、警察官2人が殉職した。

- 16日、バロチスタン州クエッタのハザルガンジ地区の道路脇に駐車中のオートバイに仕掛けられたIEDが爆発し、歩行者3人が負傷した。
- 17日、KP州バジョール郡カルで、ハミードウル・ラフマーン同州議会議員（PTI所属）の自宅の外でIEDが爆発し、正門が破壊された。死傷者は報告されていない。
- 18日、バロチスタン州マストゥング郡郊外のチョトゥ地区で、車列の先頭車両が身元不明の武装集団からの襲撃を受け、警察官2人が殉職、憲兵隊員3人を含む5人が負傷した。
同日未明、同郡ギルドガブ地区で、憲兵隊の検問所が武装集団からの襲撃を受け、銃撃戦で憲兵隊員3人が負傷した。犯人達は逃走した。
同日、同州ナシラバード郡デラ・ムラド・ジャマリで、警察車両がIEDによる攻撃を受けたが、車内にいた警察官達は全員無傷で脱出した。
- 18日未明、KP州バンヌー郡のミルヤン警察署がテロリストによるクワッドコプター攻撃を受け、警察官2人が負傷した。
- 18日、バロチスタン州カラート郡で、ジャタク族及びナチャリ族の長老2人がオートバイに乗った身元不明の武装集団に殺害された。
- 19日、バロチスタン州クエッタ市郊外ジャブリヌール地区で、車両に仕掛けられた磁気爆発装置が爆発し、治安要員1人が殉職した。
- 18日夜、KP州南ワジリスタン郡南部アングル・アダで、治安部隊と武装勢力との銃撃戦の最中に発射された迫撃砲弾が住宅に着弾し、少女1人が死亡、家族4人が負傷した。治安部隊は、身元不明の襲撃者達が同地域のカーンガイ・フォートをクワッドコプターで攻撃したと主張した。
- KP州チャルサダ郡で、6月に警察官を殺害したTTPと関わりを持つ容疑者

が、犯罪現場に連行されていた際に抵抗したため警察に射殺された。

- 20日、同州南ワジリスタン郡北部シャクトイTehsilザワル地区で、クワッドコプターによる攻撃により、1人が死亡、2人が負傷した。攻撃に関する公式声明は発行されていない。

同日、同郡北部マキーンTehsilチャレライ地区付近でラダ警察署の警察官3人が巡回中に行方不明になり、同地のシャフル地区でも警察官4人が行方不明になった。

- 20日、ギルギット・バルチスタンのディアメルで、カラコラム・ハイウェイ沿いの検問所が身元不明の武装集団に襲撃されFC隊員1人が殉職した。警察チームはドローンと暗視装置を用いて容疑者を探すために遠隔地を急襲し、地元住民数人を逮捕した。

- 19日夜、KP州ラッキー・マルワット郡ビタニTehsilラタンザイ地区で、テロリスト達がガスパイプライン沿いに手製の爆弾を仕掛け、爆発によりパイプラインが損傷し、複数の地域へのガス供給が中断された。同郡では過去1か月以上にわたりガスインフラを狙った爆弾攻撃が複数回発生している。

20日、同州バンヌー郡バッカケル・タウンで警察署がテロリスト12人以上からの襲撃を受けた。

- 21日、KP州オラクザイ郡で連続で発生した2件の襲撃事案で、治安要員の少なくとも8人が殉職し、数人が負傷した。報道によれば、グンダ・メラ地区で治安部隊はミリタント達と交戦し、少なくともミリタント3人を殺害した。

同州北ワジリスタン郡ミランシャーTehsil付近で、治安部隊に降伏した元ミリタント司令官がオートバイに乗った者達からの襲撃を受け、同行者2人と共に死亡、もう1人の同行者も重傷を負った。

- 21日、バロチスタン州マストゥング郡ダシュト地区郊外で、クエッタCTDは2024年11月に誘拐された14歳の学生の誘拐・殺人容疑で拘束されていた容疑者を連行し、同地区にあるとされる犯人達の隠れ家を特定していたところ、共犯者達との銃撃戦が発生し、拘束されていた容疑者が仲間からの銃撃を受けて死亡したほか、テロリスト2人も死亡した。死亡した3人全員がダーイシュ（ISKP）と関わりがあり、テロ攻撃を計画していた。

- 21日、KP州バンヌー郡バッカケル地区で、同州災害管理庁（PDMA）職員2人が身元不明の武装集団により誘拐された。

- 22日、KP州タンク郡ラグザイ村で迫撃砲が爆発し、近くの神学校へ向かっていた子ども2人が死亡した。

- 23日、バロチスタン州マストゥング郡グル・ジャン地区で、ミリタント達が検問所付近の道路沿いに仕掛けたIEDが爆発し、治安要員1人が殉職、3人が負傷した。

- 23日、KP州バンヌー郡タクティケルで検問所がミリタント達に襲撃され、FC隊員6人が負傷した。

- バロチスタン州カッチ郡マチ付近のアービグム地区で、オートバイに乗っ

た者達が住宅に手榴弾を投げつけ、1人が死亡、3人が負傷した。

- 24日、バロチスタン州クエッターシビ郡間で、カラチ発クエッタ行きの列車ボラン・メール号がドンボリ駅とダングラ駅の間を通過していた際に線路近くに仕掛けられたIEDが爆発し、車両の一部が部分的に損傷した。乗客に負傷者は出なかった。バローチ共和隊（BRG、バロチスタン州とシンド州の州境を拠点に活動しているとされる）が犯行声明を発出した。
- 24日、KP州ハンゲー郡タールTehsilで、軍人1人が狙撃攻撃を受け殉職した。また、同州バンヌー郡で車両に対するテロ攻撃を受けFC隊員1名が殉職、2人が負傷した。
- KP州タンク郡での治安部隊とテロリスト達との銃撃戦に巻き込まれ、少女1人が死亡した。
- 24日深夜、KP州バンヌー郡バシャケル地区の警察署がテロ攻撃を受けたが、警察が撃退した。警察官は全員無事だった。数時間後、同郡マザンガ地区の警察署がテロリスト達によるクワッドコプター型ドローンの標的となった。警察官達が報復射撃を行ったが、機体は行方不明となった。負傷者はいなかった。同警察署は先月も度々ドローン攻撃の標的となっていた。
また、同郡アカンドケル地区で建設会社の社員1人が建設中の道路プロジェクトの監督をしていたところ4～5人の武装集団に拉致された。
25日、同州カラク郡の山岳地帯コヒマイダン地区で警察官1人がテロリスト達に銃撃され殉職した。
- 25日、KP州北ワジリスタン郡ミール・アリTehsilハルムズ地区で、身元不明の者達によって民間の銀行員2人とバスの運転手が誘拐された。
- 25日、チョードリー内務担当国務大臣とマリク法務担当国務大臣は共同記者会見で、政府はソーシャルメディア会社に対し、テロ組織と関連しているとされる481のアカウントのユーザー情報を共有し、ブロックするよう要請した旨発表した。
- 26日にKP州ハイバル郡ティラー渓谷ザカケルのピール・メラで迫撃砲攻撃を受けて少女が死亡したこと受け、翌27日朝、地元部族民が少女の遺体をバーク・マイダン・マルカズの軍事施設前へ運んでいたところ、一部が暴徒化し、制圧しようとした治安部隊からの発砲を受け、抗議者の少なくとも6人が死亡、17人が負傷した。事件後、治安当局は部族の長老達と会談し、被害者への補償を発表し、負傷者には医療措置を提供することを確約し、同州政府も死亡者と負傷者への保証を別途発表した。なお、ピール・メラの住民によれば、治安部隊はザカケル、シャロバル、アダケル及びマラクディンケルでミリタントに対する作戦を実施し、過去10日間に少なくとも3人が迫撃砲攻撃により死亡した。
27日朝、KP州チトラール郡アルスーン村で、ミリタント達との銃撃戦により治安要員2人が殉職、5人が負傷した。
- 27日深夜、バロチスタン州カッチ郡ダーダルTehsilで、身元不明の者達が同州灌漑局事務所付近に仕掛けた爆発物が爆発し、通行者2人が負傷した。

- 27日、KP州カラク郡ドラゲイ地区でサイヤド・ワリJUI-F指導者が身元不明のテロリスト達に射殺された。同JUI-F指導者は安全上の脅威から故郷を離れ、バンヌー郡バルガントゥに居住していたが、緊急の用事で故郷に帰ったところ、テロリスト達に自身の空き家に連れて行かれ、殺害された。
- 27日、KP州バンヌー郡ヌラル地区で軽火器と重火器で武装したTTPのテロリスト達が道路や街路を徘徊したため、商業活動が麻痺し、住民達は屋内に留まることを余儀なくされ、恐怖と不安が広がった。同地区は過去1か月以上に亘りテロリスト達によるクワッドコプター攻撃を複数回受けているミルヤン警察署の管内に位置し、同管内には約200～250人のテロリストの存在が確認されている。
- 27日深夜、シンド州カラチ市オランギ・タウンのマンゴピール地区でCTDはIBOを実施し、TTP所属の容疑者3人を殺害、武器、爆発物、自爆ベスト及び標的リストを押収した。うち1人は昨年11月に同市の繊維工場で中国人技術者2人を襲撃した事案の首謀者だった。
- 28日、KP州コハート地域警察署長（RPO）はコハート郡、ハンゲー郡、オラクザイ郡及びクーラム郡南部の境界地域でガンシップヘリコプターによりテロリスト達の隠れ家を攻撃し、同地では陸軍及び警察200人が地上作戦に参加している旨記者団に述べた。同RPOによれば、2024年11月にコハート郡・クーラム郡間の高速道路を走行していた罪のない乗客が殺害されたことを受け、今年1月4日にコハート和平協定が締結されて以来初めて空爆が開始され、過去10日間でハンゲー郡、カラク郡、オラクザイ郡及びクーラム郡でテロリスト15人が殺害された。
- 27日、バロチスタン州デラ・ブグティ郡マリ地区付近で、身元不明の者達が仕掛けた地雷を知らずに踏んでしまい、羊飼いの1人が死亡した。
- 29日、KP州バジョール郡ロウィ・マムンドTehsilで治安部隊はテロリスト掃討作戦「決死の作戦（Operation Sarbakaf）」を開始し、16の地区に3日間の外出禁止令を出した。ガンシップヘリコプターと砲兵部隊がこの作戦を支援しており、情報筋によれば、治安部隊は少なくともテロリスト4人を殺害、約12人を負傷させたほか、約10人を捕獲した。地元住民によれば、治安部隊とテロリスト達との衝突で複数の地域で民間人2人（うち子ども1人）が死亡、8人（うち子ども2人、女性1人）が負傷した。
- 29日、KP州南ワジリスタン郡ワナTehsilカリコート・バザールで身元不明の者達により医師が射殺された。
- 30日、シンド州CTDは、カラチ市ドリグ・ロード付近で実施した諜報機関との作戦で活動禁止の分離主義組織に所属するテロリスト4人を逮捕した旨発表した。容疑者達は5月18日に同州バディン郡で発生した殺人事件に関与していた。
- 31日、シャリフ首相主宰のテロ対策・国家権力の確立に関する運営委員会会合が実施され、政府はテロリストに対する作戦の実施に加え、より強力な法律と世論を通じてTTP等の過激主義を根絶する多角的なアプローチを承認

した。会合にはムニール陸軍参謀長も出席した。

- 国連の分析支援・制裁監視チームによる第36回報告書によれば、4月22日に印側カシミールで発生したパハルガム事件を受け、テロ組織が印パ間の地域的な緊張を利用して影響力を拡大させ、攻撃を実行する可能性が高まっている。また、約6000人の戦闘員を擁するTTPはアフガニスタンのタリバーン暫定政権から相当な後方・作戦支援を受け続け、IS-K、アル・カーイダ及びBLAとの戦術的連携を維持している。

- 30日夜、KP州バジョール郡カルTehsilジャラル地区で、身元不明の者達がガソリンスタンドを手榴弾で攻撃し、警備員と見られる男性1人が負傷した。地元民によれば過去数か月間で5回目となるガソリンスタンドへの襲撃だった。

31日朝、同郡ロウィ・マムンドTehsilゴハティ地区で迫撃砲弾が住宅に着弾し、4人が負傷した。

30～31日夜、同州ハイバル郡ランディ・コータルTehsilジヤライ地区の検問所が身元不明の者達に襲撃され、境界壁と検問所の一室が一部損壊したほか、同Tehsilにあるハムザ・ババ廟付近の建設中のレスキュー1122ビル内の貯水タンクに弾丸が命中した。いずれも死傷者は報告されていない。

30日夜、同郡ティラー渓谷バラ地区のバル・カンバルケルで身元不明の者達が送電鉄塔を爆破した。また、同渓谷トール・トート地区で、家具販売に従事する男性1人がミリタント達に誘拐された。

- 31日、KP州タンク郡アマケル村ナンドール地区付近でFC隊員2人が身元不明のテロリスト達により拉致された。
- 31日夜、パンジャープ州ラヒーム・ヤル・カーン郡サディカバードTehsilの未開発地域（通常Katcha）で、シェイカニ検問所が手榴弾やロケットランチャーで武装した40人以上の武装集団（ダコイト）に襲撃され、警察官5人が殉職した。インダル・ギャング（Indhar gang）が犯行声明を出した。同ギャングの首謀者（1000万ルピーの懸賞金がかけている）は、自分達が捕虜にしていたヒンドゥー教徒3人の解放と引換えに警察は仲間1人を釈放することを約束していたが、警察が銃撃戦で同仲間を殺害し裏切ったため、報復として犯行に及んだ旨ビデオメッセージで述べた。

8月

- 7月19日にKP州南ワジリスタンで巡回中に身元不明の武装集団に誘拐されたラダ警察署とセルベカイ警察署の警察官3人が、1日深夜、CTD、警察、治安部隊及びメフスード族の長老達の連携した取組により無事救出された。
- バジョール郡情勢：1日、KP州バジョール郡ロウィ・マムンドTehsil（29日から治安部隊は同地でテロリスト掃討作戦「決死の作戦（Operation Sarbakaf）」を開始）で、同郡平和ジルガの代表団50人は地元TTP指導者達と会談し、ミリタント達の存在が地元住民にとって深刻な脅威となっているため、治安部隊と戦うのであればアフガニスタンに帰還するか、民間人居住

地域に滞在するのでなく山岳地帯へ移動するよう求めた。

- バジョール郡情勢：情報筋によれば、翌2日の2回目となる協議で、テロリスト達は条件付きで民間人居住地域からの撤退に同意したが、同郡から完全に撤退することはないと述べた。またテロリスト指導者達は同郡で平和的に行動するとジルガのメンバーに対して確約した。
- 3日、バジョール郡平和ジルガのメンバーとTTP指導者は3回目となる協議を行い、双方は紛争が協議によって完全に解決するまで停戦することで合意した。
- 7月24日に実施された多党会議を受け、2日、ガンダプールKP州首相が議長を務めた「地域ジルガ」が実施され、IDFATAにおける新たな軍事作戦及び地元住民の避難と、ミリタントの抑制を目的とした平和民兵（Aman lashkars。2008年に武装勢力と戦うためにペシャワール郡で創設された。）の結成に反対した。また部族長老達は連邦政府に対し、KP州政府と部族長老達の代表者からなる代表団を組織し、アフガニスタンとの対話を行い、このプロセスを促進するために必要な支援等を提供するよう勧告した。このジルガはオラクザイ郡、ハイバル郡、コハート郡ダラ・アダムケルTehsil及びペシャワール郡ハサンケルTehsilの代表者で構成され、24日に発表された宣言の実施戦略を策定する「大ジルガ」に向けて開催される4回の会合のうち最初のものである。
- 2日朝、KP州ラッキー・マルワット郡ランゲルケル・サルバンド地区で、子ども達が発見した不発の迫撃砲弾が爆発し、子ども5人が死亡、女性2人を含む13人が負傷した。
同日、同郡シェイク・クラ地区でクワッドコプターから投下された爆発物が自宅で爆発し、村人1人が死亡、家族の女性2人が負傷した。
- 2日、バロチスタン州デラ・ブグティ郡スイTehsilのカンジョ・サガリ地区で道路脇に設置されていたIEDが爆発し、2人が死亡、1人が負傷した。
- 2日、KP州南ワジリスタン郡南部ビルマールTehsilアザム・ワルサック・バザールで警察官1人が身元不明の武装集団に、射殺された。当局によれば標的殺人だった。
- 2日深夜、KP州バンヌー郡ファテケル地区で検問所が40～50人のミリタント達に襲撃された。
- 3日夕方、KP州南ワジリスタン郡南部ビルマールTehsilダナ地区でTTPのグル・バハーダル・グループとアフマドザイ族長老家族と間で銃撃戦が発生し、TTP司令官2人と同長老の兄弟が死亡、もう一人の長老及びその兄弟のほか、現場にいた女性2人が負傷した。
- 3日、KP州バンヌー郡のミルヤン警察署がクワッドコプターによる攻撃を受け、警察官2人が負傷した。警察関係者によれば、テロリスト達の標的は警察署に設置されたサーマルカメラであった。
- 4日、バロチスタン州パンジュゲル郡チートカーン地区のマーケットで、憲兵隊隊員1人とその息子が身元不明のオートバイに乗った者達からの

銃撃を受け、死亡した。

- 3日夜、パンジャブ州デラ・ガジ・カーン郡カラ警察署管内のチャク・ラダン付近で、武装した容疑者達が警察のパトロール車両に無差別射撃をした。
- 4日夕方、シンド州カラチ市グリスタニ・ジョウハルで身元不明の者達により男性2人が射殺され、3人が負傷した。警察は本事案は個人的な争によるものだと言ったが、ムスリム統一評議会（MWM）報道官は死者と負傷者は全員シーア派であり、宗派間対立による標的攻撃である旨述べた。
- 5日、TTPはKP州ハイバル郡ティラー渓谷バル・カンバルケル長老との合意文書で、治安部隊との武力闘争において民間人を人間の盾として利用しないこと、同渓谷においてザカート（喜捨）やウシュル（イスラム教の税制の一つ）の名の下に金銭を徴収しないこと、誘拐や拷問を行わないこと等に合意した。しかし、同渓谷からの撤退に関する言及はなく、TTP指導者達は治安部隊に対する武装抵抗を継続し、治安部隊を支援した者やTTPに対するスパイ行為を行った者を処罰する旨誓った。
- 5～6日夜、バロチスタン州マストゥング郡キルドガブ地区で治安部隊の車列がBLAと関わりのあるテロリスト達が仕掛けたIEDで攻撃され、幹部を含む治安要員3人が殉職、3人が負傷した。
- KP州カラク郡アマンコートでFCの車両がTTPのミリタント達による待ち伏せ攻撃を受け、兵士3人及び民間人の運転手が死亡した。
- KP州ラッキー・マルワット郡の鉄道駅付近で非番のFC隊員1人が銃撃され死亡した。また、6日、同郡バチカン・アフマドザイ地区付近で海軍の兵士1人がオートバイに乗った者達に襲撃され負傷した。
- 5日夜、KP州ペシャワール市のミチニ・ゲート警察署管内で身元不明の武装したオートバイ乗った者達からの銃撃を受け、警察官1人及び民間人2人が死亡した。
- KP州南ワジリスタン郡北部ラダTehsilハビブコート地区で、同郡長（DC）及び郡長補佐（Additional Deputy Commissioner）の車列が攻撃を受けたが、無事だった。警察官2人が車両の割れたガラスで軽傷を負った。
- 6日、KP州スワート郡マッタTehsilグワレライにある山岳地帯ドブ・サールで、TTPと見られるテロリスト達とスワート郡警察の間で銃撃戦が発生し、民間人1人が死亡、警察官1人が重傷を負った。数日前から地元民はテロリスト達の存在を警告し、当局に即時に対応するよう求めており、大規模な警察部隊が派遣されていた。
- KP州バンヌー郡ミルヤンで警察はドローン1機が撃墜したほか、複数のドローンを妨害し攻撃を阻止した。同郡ではドローンによる攻撃が12件以上発生しており（ほとんどはミルヤン警察署管内で発生）、南部と州内の他地域の警察に最新の対ドローンシステムを導入する準備が進められている。
- 7日朝、KP州南ワジリスタン郡ワナTehsilのルスタム・バザール付近で警察のパトロール中に身元不明の者達が道路脇に仕掛けた（IED）が爆発し、

2人が死亡、警察官2人を含む20人が負傷した。

- 6日深夜、KP州バンヌー郡ワジールTehsilコニケル地区でミリタントの集団が検問所を襲撃し警察官1人が負傷したが、激しい銃撃戦の後地元部族民が警察を援護し、犯人達を撃退した。
- 6日夜、KP州ローワー・ディール郡マイダン地区で複数の検問所と警察署がミリタント達により同時に襲撃された。
- 8日、KP州バンヌー郡バックケル地区及びタクティケル地区の間にある検問所がTTPのクワッドコプターにより攻撃され、FCの兵士1人が殉職、3人が負傷した。
- 8日深夜、シンド州カラチ市カユーマバード付近の検問所が武装した者達による襲撃を受け、男性1人が死亡、警察官1人と男性2人が負傷した。
- 8日夕方、KP州ラッキー・マルワット郡タッタ・バシケル地区で武装した容疑者達からの襲撃を受け、FC職員1人及びその妻が死亡した。
- 9日、KP州ラッキー・マルワット郡ミール・ハザル・カーンザドケル地区で武装したオートバイ乗り達からの銃撃を受け、FCの兵士1人が殉職、その従兄弟が負傷した。また、同郡ガジケル地区でミリタントの集団により元兵士1人が射殺された。
- 9日、KP州ラッキー・マルワット郡アブドゥルケル付近でTTPが仕掛けたIEDが爆発し、パトロール中の兵士2人が負傷した。
- 9日、KP州ラッキー・マルワット郡シェリケル地区で、前日のFC隊員の標的殺害を受けて警察が作戦を実施していた際に銃撃戦が発生し、テロリスト3人を負傷させたが、共犯者が山岳地帯へ搬送した。
- 10日、バロチスタン州マストゥング郡ダシュトTehsilスピゼンド地区付近で、身元不明の者達が鉄道駅の外側にある信号機に仕掛けたIEDが爆発し、ペシャワール行きのジャファル・エクスプレスの車両6両が脱線した（死傷者の報告はなし）。過去3日間で2度目となるジャファル・エクスプレスへの爆弾攻撃だった。
- 10日、KP州南ワジリスタン郡南部ビルマールTehsilアザム・ワルサック地区で、身元不明のテロリスト達により公立高校がIEDで爆破された。地元情報筋によれば、前日にFidayan-e-Islam（イスラム教の信奉者の意）と名乗る組織が生徒を脅迫し、学校に対し生徒の退学を警告するパンフレットを配布していた。
- 10日、KP州南ワジリスタン郡南部ビルマールTehsilアザム・ザライ・ロードの橋の下で身元不明のテロリスト達が仕掛けたIEDが爆発し、橋が破壊された。過去3日間でこの地域の橋がミリタント達により爆破されたのは4回目となる。
- 10日、バロチスタン州ジアーラト郡ゼズリ地区で、ピクニックをしていた同郡Tehsil長とその息子が武装集団に誘拐された。
- 8日夕方にKP州バジョール郡の平和ジルガと地元ミリタント司令官達ととの間で行われていたミリタント達のアフガニスタンへの移動に関する協議が

決裂したことを受け、11日、同郡ロウィ・マムンドTehsilでテロリスト掃討作戦「決死の作戦」（‘Operation Sarbakaf’）が再開され、複数の地区で14日まで外出禁止令が発令された。

- 11日夕方、バロチスタン州ケチ郡タンブTehsilゴマザイ地区で迫撃砲弾が着弾し、神学校から帰宅中の子供1人が死亡、2人が負傷した。
- 11日朝、KP州南ワジリスタン郡南部ビルマールTehsilカラ・バークでJUI-Fに所属する聖職者がオートバイに乗った身元不明の者達に射殺された。
- 11日夜、バロチスタン州ワシュク郡南部バシマTehsilで治安部隊の車列がミリタント達からの待ち伏せ攻撃を受け、軍の高官1人を含む治安要員9人が殉職、6人が負傷した。
- 11日夜、バロチスタン州シビ郡のガバメント女子カレッジ付近で警察車両が身元不明のオートバイ乗り達からの手榴弾攻撃を受け、警察官1人が負傷した。
- 12日朝、KP州バジョール郡カルTehsilナワイ・カレイ地区付近のサディカバードーイナヤット・カレイ・ロードで治安部隊の車両がテロリストからの攻撃を受け、FCの兵士1人が死亡、19人が負傷した。
- 12日夕方、KP州バジョール郡ロウィ・マムンドTehsilイラブ地区の住宅に迫撃砲弾が着弾し、子供1人を含む3人が死亡、2人が負傷した。
- 12日、KP州北ワジリスタン郡ミラン・シャーTehsilのバイパス・ロードで聖職者とその息子が身元不明の武装集団からの攻撃を受け死亡した。
- 12日、KP州北ワジリスタン郡ミール・アリTehsilのバイパス・ロードで同郡ラズマクTehsil長補佐（additional assistant commissioner）と警護及び運転手がテロリスト達の人質となったが、約2時間後に解放された。
- 13日、KP州クーラム郡アリザイ地区で警察車両がテロリスト達からの待ち伏せ攻撃を受け、警察官3人が殉職した。
- 14日、バロチスタン州クエッタ市郊外キリ・ザリーンで、身元不明のオートバイ乗り達が巡回中の警察官達に手榴弾を投げつけたが、警察官達は無傷だった。しかし、走行していたオートバイに乗り1人が死亡、もう1人が負傷した。

同日、同州カラート郡ジョハンTehsilで帰宅中の憲兵隊員1人が身元不明の武装集団に射殺された。また、同郡アスカルコ・グندان地区で、警察は数日前に武装集団に誘拐された後殺害された部族長老1人の遺体を発見したほか、クエッタ市郊外チャシュマ・アチョザイ地区でも警察は遺体を発見した。

- 13日深夜、KP州アッパー・ディール郡パナコート地区でQRFの車両がミリタント達からの待ち伏せ攻撃を受け、警察官3人が殉職、警察官やFC隊員を含む6人が負傷した。また、ローワー・ディール郡ラジボクで検問所がミリタント達に襲撃され、警察官1人が殉職したほか、同郡シャダスでも検問所がミリタント達に襲撃され、警察官1人が負傷した。

14日、同州スワビ郡バンケル検問所が身元不明のミリタント達からの手榴

弾攻撃を受け、警察官 1 人及び調理人 1 人が負傷した。

また、同州南ワジリスタン郡南部で準軍事組織のパトロール隊が襲撃を受け、FC隊員 1 人が殉職したほか、同州クーラム郡でのミリタント指導者に対するIBO中の銃撃戦で、ロザ警察のSHOが殉職した。

- 15日前にKP州タンク郡ゴマル警察署管内のコート・ナワーズ村で身元不明の者達に拉致されたFCの兵士 1 人が地元長老達 노력により無事に帰宅した。
- 15日、KP州デラ・イスマイル・カーン郡デラ-ダラバン・バイパス沿いのハシム・ホテル付近で、オートバイに乗った身元不明の者達からの銃撃を受け税関職員 2 人が死亡、ホテルのオーナー 1 人が負傷した。
- 16日、KP州デラ・イスマイル・カーン郡警察は、マティ・バグワニ地区でCTD及び諜報機関と共にIBOを実施し、ラシュカレ・ジャングビ (LeJ) の一派バリ・キヤラ・グループ (Bali Khiyara Group) に所属するミリタント 4 人を逮捕し、独立記念日 (14日) に計画されていた大規模テロ計画を阻止した旨発表した。
- 15日夜、KP州ラッキー・マルワット郡タビ・ムラド地区で警察官の自宅にテロリストの集団が侵入し、その父親を殺害した。
- KP州バンヌー郡ヌーリ・トチ・ブリッジ付近で 4 か月前に誘拐された学校教師が無事帰宅した。
- 17日夜、バロチスタン州ナシラバード郡デラ・ムラド・ジャマリTehsilで警察車両がオートバイに乗った身元不明の者達からの手榴弾攻撃を受け、警察官 4 人が負傷した。
- 17日、KP州南ワジリスタン郡北部ラダTehsilで爆弾処理班がテロリスト達からの発砲を受け、治安要員 3 人が負傷した。
- 18日、バロチスタン州デラ・ブグティ郡ランジョ・サガリ地区で道路脇に仕掛けられたIEDが爆発し、通行人 1 人が死亡した。
- 18日、KP州南ワジリスタン郡南部ワナTehsilで武装集団が私立教育機関の校長を拉致するとともに、居合わせた 2 人に発砲し負傷させた。
- KP州のコハート地域警察RPOは記者会見で、ハーフィズ・グル・バハーダル派のテロリスト達を支援していたCTDと警察の警察官である兄弟 2 人を逮捕し、CTDと諜報機関は警備厳重地区内のモスクやムハッラム行進に対する爆破等コハート郡における一連の大規模テロ攻撃の実行を積極的に計画していたテロリスト・ネットワークを摘発した旨発表した。
- KP州南ワジリスタン郡で身元不明の者達によりアフガン人と見られる男性 1 人が銃殺された。
- 18日、ATCは、パキスタンにおけるテロ資金供与及び標的殺害への関与の疑いで17日に逮捕された印諜報機関のRAWの工作人員と見られる人物をCTDに勾留した。
- 19日夜、KP州ハイバル郡ランディ・コタルTehsilスルタンケル地区マズリナで、身元不明の武装集団によりFC隊員 1 人が殺害された。

- 20日、KP州南ワジリスタン郡ビルマールTehsilアザム・ワルサック地区で治安部隊は検問所へのテロ攻撃を撃退したが、銃撃戦で民間人1人が負傷した。

同日夕方、同州バジョール郡カルTehsilイナヤット・カレイ・バザールのバイパス・ロードで爆発が起こり、2人が負傷した。

- アフガニスタンの諜報機関である情報庁（GDI）はパクティカ県及びホスト県で作戦を実施し、TTP等のテロ組織と共謀したとしてムッラー・サンギン・グループ（当館注：ハッカーニ・ネットワークに忠誠を誓っている）の司令官とその側近である容疑者3人を逮捕した。容疑者達は21日にカブールで開催されるパキスタン・中国・アフガニスタン三か国外相会合を妨害することを目的としたテロ攻撃の計画に関与した疑いがある。
- 21日、KP州バジョール郡ヒルキ・チャルマング地区のモスクで、TTPのテロリスト達が治安部隊に対する大規模攻撃のために準備していたIEDが誤爆し、テロリスト30人以上がその場で死亡した。

21日、同州北ワジリスタン郡ミール・アリTehsilで警察官1人が武装集団に銃殺されたほか、同Tehsilでバジョール郡出身の若い男性が身元不明の者達により拉致された後、遺体で発見された。

- 21日朝、KP州ローワー・ディール郡マイダン地区で元森林警備員の男性がテロリスト達に拉致された後、殺害された。
- 21日深夜、バロチスタン州ピシン郡ピシン・タウンのバチャ・カーン・チョークBacha Khan ChowkでCTD職員1人が身元不明の武装したオートバイ乗り達により射殺された。
- 21日夜、KP州バンヌー郡マラガン・ヌーラル地区のモスクにテロリスト達が侵入し、元軍人を拉致しようとしたところ、地元民からの抵抗を受けたため発砲し、同元軍人が死亡、3人が負傷した。

同日、同州北ワジリスタン郡ミランシャーTehsilの住宅で子供達が持ち帰った玩具に似せた爆発物が爆発し、兄弟2人が負傷した。

- 24日夕方、KP州バジョール郡ロウィ・マムンドTehsilラガリ地区で身元不明の武装集団が検問所に発砲し、エリート部隊の警察官1人が殉職した。
- KP州バジョール郡でミリタント達からの銃撃を受け、警察官1人が殉職した。

同州ハンゲー郡トラ・ワライ地区でFCの検問所がミリタント達に襲撃され、兵士2人が殉職、数人が負傷した。

同州ハイバル郡ティラー渓谷で検問所がミリタント達からの襲撃を受け、兵士2人が殉職した。

25日、同州北ワジリスタン郡ミール・アリTehsilの住宅がクワッドコプターによる攻撃を受け、2歳の男児1人が死亡し、その祖母が負傷した。

- 24日夜、KP州バンヌー郡ダレイ・プル地区で検問所が身元不明のオートバイ乗り達による手榴弾攻撃を受け、警察官1人が負傷した。
- 内閣情報局（IB）は、9月6日の「防衛の日」の前夜に予定されていたイ

スラマバードの重要施設を狙った自爆テロ計画の主要な仲介者と自爆テロ未遂犯を逮捕し、テロ攻撃を未然に防いだ。ムフティ・ヌール・ワリ・マスードTTP代表がかつて率いていたグループが計画し、自爆テロ未遂犯はTTPのアフガニスタン人であった。

- 26日、KP州ラッキー・マルワット郡サライ・ノーラングTehsilで、タクティケル部族が、同部族の若者4人がテロリスト達によって拉致されたことに対する報復攻撃を行い、地元司令官を含むテロリスト2人を殺害した。銃撃戦で部族民1人が負傷した。
- 26日夜、バロチスタン州ケチ郡トゥルバットTehsil郊外のシンカニ・サル地区で身元不明のオートバイ乗り達による手榴弾攻撃が発生し、現場にいた少8人が負傷した（うち2人は重傷）。
- 26日深夜、KP州バンヌー郡ハベイド地区で、約30人のテロリストが警察官の家を襲撃し、銃撃戦で同警察官が殉職した。
- 27日、シンド州カラチ市マリル地区ビン・カシム・タウンのピプリー地区で、オートバイに乗ったテロリスト達からの標的攻撃を受け、警察官部長が殉職した。ビン・カシム・タウンでは18日にも同様の攻撃が発生し、副警部補（ASI : Assistant Sub-Inspector）が殺害された。
- 29日、ギルギット・バルチスタンのディアメルのチラス近郊で、カラコラム・ハイウェイ（KKH）沿いにある準軍事組織の検問所がミリタント達からの銃撃を受け、兵士2人が殉職、1人が負傷した。TTPが犯行声明を出した。

31日夜、ディアメルとKP州の境界のバズサル・トップ付近でパトカーがミリタント達からの襲撃を受け、警察官4人が負傷した（うち1人は重傷）。TTPが犯行声明を出した。

- 29日、KP州ハイバル郡ティラー渓谷ザカケル地区モマンド・グズ付近にある検問所で、パキスタン・ムジャヒディーン連合（IMP : Ittehad-ul-Mujahideen Pakistan）に所属すると見られる自爆テロ犯が爆発物を積んだ車両を爆発させ兵士1人が死亡、7人が負傷した。一方、公式の情報筋は、治安部隊がテロ攻撃を阻止し、標的に到達する前に自爆テロ犯の車両を撃破したと異なる説明をした。

地元住民によれば、爆発後銃撃戦が数時間にわたって続き、部隊は迫撃砲で応戦したが、ピール・メラの住宅にも迫撃砲弾が着弾し、2人が負傷した。ソーシャルメディアの投稿によれば、ラシュカレ・イスラムの分派であるIMP所属のカリ・ウマル・アフリディが犯行声明を出した。

同日、同郡ランディ・コタルTehsilチャール・バーグ地区付近で、国境線の設定とミリタントの移動と密輸を抑制するためのパキスタン側の新たな検問所設置をめぐり争いが発生した際、アフガニスタン側にいた狙撃者によりFC隊員1人が射殺された。

同州ラッキー・マルワット郡パハルケル・パッカ地区でTTP のテロリスト達と警察及び地元平和委員会の武装ボランティアとの間で銃撃戦が発生し、

テロリストの少なくとも2人が死亡、共犯者数人が負傷した。

- 28日夜、KP州バジョール郡ロウィ・マムンドTehsilナカトル地区の住宅に迫撃砲弾が着弾し、男性1人が死亡、その弟1人が負傷した。

- 30日、KP州アッパー・ディール郡バラフルTehsilでFCの部隊がTTPのミリタント達からの待ち伏せ攻撃を受け、銃撃戦でFC隊員3人が殉職、3人が負傷した。

同州コハート郡ラチTehsilで、警察のパトロール隊が銃撃を受け、警察官1人が殉職、2人が負傷した。

同州モーマンド郡ピンディアリTehsilダウェザイ地区で警察が搜索作戦を実施していて際に、検問所がミリタント達からの攻撃を受け、警察官1人が殉職し、2人が負傷した。

- 29日深夜、KP州バンヌー郡でテロリスト約70人がミルヤン警察署を制圧しようとしたが、銃撃戦の後テロ攻撃は阻止された。警察官は全員無事だった。

30日、同州バジョール郡ロウィ・マムンドTehsilラガリ地区で、警察署がテロリスト達によるクワッドコプター攻撃で襲撃され、警察官を含む2人が負傷した。

29日夜、同Tehsilの丘陵地帯ゴハティ地区で、迫撃砲弾が住宅に着弾し、男性1人が死亡、もう1人が負傷した。

- 31日、バロチスタン州クエッタのハザルガンジ地区で身元不明のオートバイ乗り達が民間企業の事務所に手榴弾を投げつけ、従業員3人が負傷した。

- 31日、KP州バジョール郡ワル・マムンドTehsilの住宅に迫撃砲弾が着弾し、子ども4人が負傷した。

同日夕方、同州南ワジリスタン郡北部マキンTehsilスピンカマル地区でクワッドコプターによる攻撃により学校から帰宅中の兄弟2人が重傷を負った。

- 30日夜、KP州ラッキー・マルワット郡ワンダ・ザヒドグル地区でテロリスト達が仕掛けた爆発物によって公立女子小学校の建物が爆破され、一部が損傷した。死傷者は出ていない。

9月

- 1日、KP州北ワジリスタン郡ミール・アリTehsilパテシ・アダ地区で検問所がテロリストからの襲撃を受け、警察官1人が殉職、1人が重傷を負った。

- 2日夜、バロチスタン州クエッタ市サリアブ地区のシャーワニ・スタジアム付近で、故サルダール・アタウッラー・メンガル元バロチスタン州首席大臣（バロチスタン民族党メンガル派（BPN-M）創設者）の命日を記念して同党が公開集会を行った直後に自爆テロが発生し、少なくとも13人が死亡、35人が負傷した。集会を主宰したサルダール・アクタル・メンガルBPN-M党首や、出席者のアチャクザイPkMAP党首、アチャクザイ・アワミ国民党（ANP）

党员、シャイ国民党（NP）党员は無傷であった。

同日、同州ケチ郡ブレダTehsilで、FCの車列が通過した際に身元不明の者達が仕掛けたIEDが爆発し、治安要員 5 人が殉職、3 人が負傷した。

- 2 日早朝、KP州バンヌー郡でTTPのテロリスト 5 人がFC本部を襲撃し、爆発物を積んだ車両で境界壁に突っ込み、隣接する民間インフラが損傷し、民間人 3 人が負傷した。連邦警察隊と軍はテロリスト達と交戦し、テロリスト 5 人を殺害したが、兵士 6 人が殉職した。バンヌー地域警察長（RPO）によれば、銃撃戦で、警察官 4 人、軍人 6 人、FC隊員 7 人が負傷した。

ラッキー・マルワット郡ベグケル・ロードで警察官 2 人がテロリスト達から銃撃され、殉職した。

- KP州北ワジリスタン郡ミランシャーTehsilタピ村で、警察官 1 人が身元不明の武装集団からの発砲を受け、殉職した。
- 2 日夜にバロチスタン州クエッタ市サリアブ地区のシャーワニ・スタジアム付近で発生したバロチスタン民族党メンガル派（BPN-M）の集会に対する自爆テロの死者数は15人に増加した。イスラム国（IS）の一派が犯行声明を発出し、自爆テロ犯の写真も公開した。
- 3 日、KP州クーラム郡南部マホーラで武装集団が車両に発砲し、6 人が射殺された。警察は容疑者の家族24人を拘束した。同地ではシーア派が多数を占め、スンニ派の車両が襲撃された。
- 3 日夜、8 月18日にKP州南ワジリスタン郡ワナTehsilで武装集団から拉致された私立教育機関の校長が無事に解放された。
- 2 日夜、KP州ラッキー・マルワット郡シェリケル地区でテロリストと見られる者達がモスク脇に駐車していたオートバイに仕掛けた爆発物が爆発したが、地元住民及び平和委員会のメンバー達は無傷であった。
- 3 日夜、KP州カラク郡アフマディ・バンダで警察隊が武装集団からの発砲を受け、SHOを含む警察官 3 人が殉職した。
- 4 日未明、パンジャーブ州ラヒーム・ヤル・カーン郡サディカバード Tehsilナワザバード近郊のサッカルームルタン高速道路（M-5）で、武装強盗団（ダコイト）が複数の車両に発砲した後、10人を拉致した。これにより 3 人が負傷した。
- 4 日、バロチスタン州スラーブ郡ジェワ・ラコルヤン地区のクエッターカラチ国道で、身元不明の武装集団からの銃撃を受け、男性 2 人が死亡した。
同日夜、同州クエッタ市で、身元不明の者達がサリアブ警察署に手榴弾を投げつけ、建物の外で爆発し、通行人 1 人が負傷した。
- KP州南ワジリスタン郡で、男性 1 人がテロリスト達からの恐喝金の支払いを拒否した後に拉致された。
- 当局は、2 日早朝にKP州バンヌー郡で発生したFC本部襲撃事件に関与したアフガン人のテロリスト 1 人を特定した。以前同人はアフガニスタンのヘルマンド県から動画を公開し、パキスタン国内で自爆攻撃を実行するためにTTPに支援を求めている。

- 5日、バロチスタン州ケチ郡マンドTehsil のコープシャト・バザールで、武装集団からの攻撃を受け治安要員2人が殉職した。
- 4日夕方にKP州ラッキー・マルワット郡アチュケル地区でテロリスト達に拉致された警察官1人が殺害された。
- 7日、バロチスタン州クズダール郡ナールTehsilのバザールでIEDが爆発し、2人が重傷を負った。
- 7日、KP州北ワジリスタン郡ダッタケルTehsilで継続中の搜索活動中、ミリタントと見られる集団カルクマル村とカルシン村付近で治安部隊を襲撃し、治安要員2人が殉職した。
6日夕方、同州バジョール郡カルTehsilカウサル地区のラチ・クリケット・グラウンドで、試合中にIEDが爆発し、男性1人が死亡、子ども1人が負傷した。
6日、同郡シンクート地区で、SHOの息子が身元不明の武装集団に襲撃され、射殺された。
- 6日、KP州南ワジリスタン郡南部ワナTehsilで、ダブコート及びドアグから治安部隊のキャンプに向けてロケット弾が発射された。ロケット弾はキャンプの境界壁の外側に着弾し、死傷者は出なかった。
- 8日、KP州北ワジリスタン郡ダッタケルTehsilでの継続中の作戦で治安部隊はハーフィズ・グル・バハーダル派等と関係のあるミリタント8人を殺害した。
7日深夜、KP州ラッキー・マルワット郡ミール・カラム・プル地区の警察官の自宅はテロリスト達からの襲撃を受け、親族2人が負傷した。
- 8日、KP州バジョール郡ロウィ・マムンドTehsilゴハティ・メナ地区の住宅に迫撃砲弾が着弾し、女性1人が死亡、その娘が負傷した。
- 政府当局によれば、KP州にはTTPのテロリスト8000人以上が存在する。テロリスト達はアフガニスタンからあまり知られていないルートを通して越境し、ペシャワール市、タンク郡、デラ・イスマイル・カーン郡、バンヌー郡、ラッキー・マルワット郡、スワート郡及びシャングラ郡等に存在しており、CPECロード、デラ・イスマイル・カーンバンヌー・ロード及びタンク郡に検問所を設置し、一般住民の中に潜伏して治安部隊を攻撃している。
- 11日深夜、KP州ローワー・ディール郡のラジブーク検問所がミリタント達からの襲撃を受けたが、撃退した。死傷者は報告されていない。
- 11日、バロチスタン州カラン郡ラジャ地区で身元不明の武装集団が一家4人を銃殺し、さらに4人を拉致した。
- 10日夜、KP州ラッキー・マルワット郡ティテルケル・タウンで、テロリスト集団がパキスタン国立銀行（NBP）の支店に侵入し、錠前を破壊し、ドアや窓を破壊した後、放火した。
同日深夜、同郡セライ・ノーラング・タウンのガンディ・サーヒブ・カーン地区で、テロリスト達が仕掛けたIEDが爆発し、諜報機関職員の自宅が破壊された。

- 11日、KP州バジョール郡の山岳地帯バラングTehsilで道路脇に仕掛けられたIEDが爆発し、部族の長老1人が重傷を負った。
- 11日にKP州ローワー・ディール郡マイダンのサル・バンダ地区でのミリタント達との銃撃戦でFC隊員7人が殉職、15人が負傷たことを受け、12日、治安部隊はマイダンとサマルバークに隣接するガトキ・ソワラ・グンダイ地区にあるミリタントの隠れ家をガンシップヘリコプターで攻撃し、テロリストに多大な死傷者と物的損害をもたらした。

12日、同州ラッキー・マルワット郡ワンダ・ピンジマ地区で、警察はTTPのテロリスト司令官1人殺害した。

同日、同州バンヌー郡ピール・ディルケル地区で、ペシャワール電力供給会社(PESCO)の従業員5人が武装集団により拉致された。
- 13日、バロチスタン州チャガイ郡チャガイTehsilで、住民に飲料水を供給するために新しく建設されたパイプラインが身元不明の者達によって破壊され、完全に焼失した。
- 13日、KP州南ワジリスταν郡ダナ・アルガド地区で、身元不明の武装集団により警察官1人が誘拐された。
- 14日、KP州南ワジリスταν郡南部ビルマールTehsilダナ地区で、警察官とトラックの運転手が武装集団に拉致された。
- 14日、KP州バンヌー郡バカケル地区にあるテロリストの隠れ家で、テロリスト達が組み立てていたIEDが爆発し、TTPのハーフィズ・グル・バハーダル派の司令官を含む13人が死亡した。同司令官はシャー・ムハンマド・ワジールKP州元閣僚(PTI所属)のジルガ・ホールを占拠し、ミリタントの拠点としていた。
- 15日、バロチスタン州ケチ郡のイランとの国境付近のマンドTehsilで、ミリタント達が仕掛けたIEDが爆発し、治安要員5人が殉職した。BLAが犯行声明を出した。
- 15日、KP州タンク郡ムラ・ザイのウマル・ハイル地区で、ポリオ撲滅キャンペーンを監視していた世界保健機関(WHO)の上級職員3人が身元不明の武装集団に拉致された。
- 16日、KP州チャルサダ郡パランのダラブ・マジョキ地区での強制捜査中に指名手配犯達からの銃撃を受け、警察官1人が殉職、副警部補1人が負傷した。
- 16日、KP州南ワジリスταν郡南部ビルマールTehsilのグル・ドナ・グンダイ地区で、部族長老の息子がテロリスト達により拉致された。数日前にテロ組織の地元司令官から同部族長老に対する脅迫があり、同人は過去にも車両への攻撃のほか、自宅付近にIEDを仕掛けられたことがあった。
- 16日、バロチスタン州シラニ郡で、警察署本部がテロリスト達に襲撃され、警察官2人が死亡、その他多数が負傷した。

16日夜、同州シェラニ郡ミール・アリケルの警察署及び憲兵隊事務所がテロリストに襲撃され、警察官1人が殉職、憲兵隊隊員2人が負傷した。

17日、同州デラ・ブグティ郡スィTehsilランジョ・サガリ地区で地雷爆発が2回発生し、民間人3人が死亡、少女1人が負傷した。

- 16日夜、KP州バンヌー郡マザンガ地区の検問所で、警察はテロリストの襲撃を撃退したが、銃撃戦で警察官4人が負傷した。

同日、同州ハイバル郡ティラー溪谷バル・バーグ・マルカズ付近で、16日夕方にマラクディンケルのシャムシェイ・カリの自宅からTTPのテロリスト達によって拉致された地元武装組織「ハイバル民兵（Junudul Khyber）」

（同溪谷でのテロ活動が活発化したことを受け、数ヶ月前に地元の若者達が結成）の活動家の遺体が発見された。

- 17日夜、6月4日にバロチスタン州ケチ郡タンプTehsilからクエッタ市に向かっていた際に武装集団に誘拐された同Tehsil長が解放された。BLFが犯行声明を出していた。

- 18日夜、バロチスタン州チャマン郡アフ・パク国境付近の混雑したタクシー乗り場で爆弾の爆発が発生し、6人が死亡した。

同日深夜、同州カラート郡マンゴチャールTehsilで、身元不明の武装集団から手榴弾攻撃と発砲を受け、FC隊員2人を含む4人が負傷した。

同日、同州ケチ郡ダシュティクダン地区で、グワダルからトゥルバットに向かっていた治安部隊の車列が武装集団からの銃撃を受けた後、ピックアップバスに乗った自爆テロ犯に衝突された。当局からの発表はなく、死傷者数の有無も現在は不明である。バローチ解放戦線（BLA）が犯行声明を出した。

- 捜査によれば、今年シンド州カラチ市で発生した警察官の標的殺害事件にTTPが関与している可能性が指摘されており、同組織の「潜伏工作員」が市内で活動を活発化させている。

17日にもグルシャニマイマルで身元不明の者達からの標的攻撃で警察官（PPP下院議員の警護）が殉職し、今年6年目の犠牲者となった。本事件の犯行パターンはTTPによる手口とは異なると見られる。現段階では犯行声明は発出されていない。

- 18日、KP州南ワジリスタン郡南部ビルマールTehsilマンラ地区で、警察はガンシップヘリコプターでミリタントの隠れ家を砲撃したところ、ミリタントはロケット弾で反撃した。銃撃戦で女性の地元評議会議員（councillor）が死亡した。

- KP州コハート郡ダラ・アダムケルTehsilトール・チャップルで元憲兵隊隊員が身元不明の武装集団により射殺された。

- KP州タンク郡コート・ワリ地区で休暇中のFCの兵士1人が拉致された。

- KP州バンヌー郡で元FCが自宅から身元不明の武装集団に拉致された。

- 印メディアやソーシャルメディアの報告によれば、3月11日にバロチスタン州で発生したジャファル・エクスプレス襲撃事件の首謀者グル・ラフマーン（別名ウスタード・ムリード、バローチ解放戦線（BLA）の自爆部隊であるマジード旅団所属）が、17日にアフガニスタンのヘルマンド県で殺害され

た。

- 21日、バロチスタン州デラ・ブグティ郡スイTehsilゴタン村で、ブグティ族の牛飼いの少なくとも9人が武装集団に拉致された。
- 21日、KP州バジョール郡カルTehsilカナザ地区のカルーナワガイ・ロードで、アワミ民族党（ANP）党員が身元不明の者達に襲撃され、死亡した。
- 15日にKP州タンク郡ウムルケル村で身元不明の武装集団によって誘拐された世界保健機関（WHO）のポリオ対策担当官3人が、同郡長及び地元部族の治安委員会の長老達の努力により21日に無事救出された。
- 22日未明、KP州ハイバル郡ティラー溪谷アッカケル地区の住宅群近辺で一連の爆発が発生し、女性及び子どもを含む約24人が死亡した。警察によれば、死者の中にはミリタント約12人も含まれていた。

法執行機関関係者はTTPの地元司令官2人が爆弾製造・保管拠点としていた住宅が破壊された旨主張している一方で、地元住民達はダルスのシャダレイ地区の2軒の住宅が空爆の標的となり、少なくとも5軒の住宅が完全に破壊され、多くの民間人が死亡したと主張した。これを受け、バラの各地から多くの人々がハイバル・チョークで抗議デモを行い、事件を非難するとともに、被害者家族への連帯を表明した。KP州政府は「対テロ作戦」で死者が生じたことを非難するとともに、ガンダプール首席大臣は犠牲者家族それぞれに1000万ルピーの補償金を支払う旨表明した。

- 22日、KP州北ワジリスタン郡ミール・アリTehsilイシャウディ村で警察官1人が身元不明の武装集団により射殺された。
 - 情報筋によると。サーディク・アフガニスタン担当特別代表は、最近タジキスタンのドウシャンベで開催された上海協力機構（SCO）のアフガニスタンに関する非公開会合で、最近のTTPによる攻撃に関与したテロリストの70%がアフガン人である旨述べた。これは過去数年間の5～10%から大幅に増加している。
 - 23日、バロチスタン州マストゥング郡スピゼンド地区でクエッタ行きの特急列車ジャファル・エクスプレスが爆弾攻撃を受け脱線し、うち1両が転覆したため、女性と子どもを含む12人が負傷した。これは同地区で10時間以内に発生した2件目の爆発事件であり、同日午前中にもペシャワール行きのジャファル・エクスプレスが出発しようとした際に、バロチスタン州と国内他地域を結ぶ主要線路付近で爆発が発生した（車両に損傷はなかったため、一時停車後運行を再開）。
 - 22日夜、KP州ラッキー・マルワット郡アカカ・ケロケル・パッカ地区で、FCの検問所がTTPのテロリストからの襲撃を受けた。
 - 23日夜、KP州ラッキー・マルワット郡セライ・ノーラングTehsilで、同Tehsilの保健担当官が身元不明の武装集団に銃殺された。
- 24日、同州バンヌー郡クラーム・ガリ地区でテロリストと警察の間で銃撃戦が発生し、通行人1人が負傷した。
- 24日、KP州南ワジリスタン郡ワナTehsilカリコート地区で、テロリスト達

は住民に対し、政府や国家機関の代表者達との接触を一切禁じるよう警告し、当局と協力した者は厳しい処罰を受ける旨述べるとともに、特に部族の長老を名指しし、TTPへの反対を止めるよう求めた。

- 25日、パンジャブ州バハワルナガル郡チシュティアンTehsilの政府系小学校でポリオワクチン接種を行っていた同Tehsilの保健局チームが生徒の保護者を中心とする多数の住民に襲撃された。また、同州マンディ・バハウディン郡でも、小学校でポリオワクチンを接種していた女性ヘルスワーカー達が地元女性達に暴行された。
- 25日、バロチスタン州ピシン郡キリ・バテザイ地区で憲兵隊隊員1人が身元不明の武装集団からの発砲を受け、殉職した。
- 25日、KP州バンヌー郡ドメル・バザールで警察官1人が身元不明の武装したオートバイ乗り達からの発砲を受け、殉職した。
- 25日、KP州クーラム郡の山岳地帯クムザイで身元不明の者達が仕掛けた地雷が爆発し、薪拾いに向かっていた男性1人が死亡、その息子が重傷を負った。
- 26日深夜、KP州タンク郡コート・カダク地区で地元平和委員会委員長の自宅が身元不明の武装集団に襲撃され、委員長は死亡、その兄弟が重傷を負った。
- 24日午後、パンジャブ州タウンサ郡ワフワTehsilのコタニーコビ・ロード及び周辺の道路で、覆面の武装集団が検問所を設置し車両を停止させている映像がソーシャルメディアに拡散し、地元民に不安が広がった。地元民によれば、武装集団は日没後に外出しないよう警告したという。同郡当局及び治安機関は同地域にTTPのミリタントが存在することを公に確認していない。
- 27日午後、KP州バジョール郡ロウィ・マムンドTehsilラガリ地区の畑で不発弾が爆発し、4人が死亡、2人が重傷を負った。
- 27日、KP州クーラム郡ファテ・カーン・コルナ付近で、部族長老が身元不明の者達に銃殺された。
- 捜査関係者によれば、2月にKP州ノーシェラ郡で発生したハミードウル・ハック・ハッカーニJUI-S党首が死亡した自爆テロ事件及び5月にKP州ペシヤワールで発生した警察車両を標的とした自爆テロ事件に関与した国際テロ組織は、仮想通貨やモバイル・バンキング等様々な手段で資金を集めていた。
- 28日、KP州ラッキー・マルワット郡スラ・ダルガ地区で、前27日にケロケル・パッカ地区で武装集団達に誘拐された同州政府職員の遺体が発見された。

(以上)